

# 県立 九州陶磁文化館所蔵名品展

Select Works from the Kyushu Ceramic Museum —The Beautiful Ceramics of Kyushu—

秋季特別展

# 華やぎの 九州陶磁



平成25年 10月19日(土)～12月8日(日)

主催：茶道資料館  
後援：佐賀県、京都府、京都市、佐賀県教育委員会、京都府教育委員会

特別協力：佐賀県立九州陶磁文化館

休館日：10月曜日但し祝日および11月11日は開館  
開館時間：午前9時30分～午後4時30分(入館は4時まで)

入館料：一般800円／大学生500円／中高生300円／小学生以下無料  
20名以上団体割引  
入館者には呈茶を行います



左：色絵豪華重子割付・海人漁門風式  
右：豪麗文光付・舟付山水文海馬透大盤  
右：豪麗文光付・舟付山文三足炉

茶道資料館

〒602-0073 京都市上京区鴨川通寺之内上る寺之内町682番地 萬千家センター内  
電話 075-431-6474

### 2013 Special Autumn Exhibition

# The Beautiful Ceramics of Kyushu

## Select Works from the Kyushu Ceramic Museum

October 19 (Sat) - December 8 (Sun)

佐賀県立九州陶磁文化館は、唐津、有田、伊万里といった佐賀県域の陶磁器をはじめ、高取、現川、八代、薩摩などの九州各地の陶磁器に関する資料を収集、保存、展示し、合せて調査研究や教育普及の活動を行うことを目的として設立された美術館です。これまでにも数々の展覧会や陶磁器に関する学会やシンポジウムなどを開催し、また、九州の陶磁器を研究する施設として世界的にも認識されています。

同館では、九州陶磁の歴史的意義や特徴のわかる古陶磁、窯跡からの出土資料をはじめ、ヨーロッパで焼かれた陶磁器、現代陶芸作家の作品まで多岐に渡って作品を収集しています。なかでも、平成2年(1990)から平成15年(2003)にかけて、柴田明彦、祐子夫妻によって寄贈された10,311点もの有田磁器コレクションが注目されます。柴田夫妻コレクションの特徴は、有田磁器の歴史的変遷を、形・文様・技法などの様々な面から理解できるように、網羅的に集められている点で、平成18年(2006)には国の登録有形文化財にも指定されています。

今回の展覧会においては、柴田夫妻コレクションの作品も含めた九州陶磁文化館所蔵の陶磁器の名品のうち、伊万里、有田の染付、色絵の名品を紹介するとともに、合わせて唐津、上野、高取、八代、薩摩などといった九州の茶陶を展示し、江戸時代を中心に華やかな様相をみせる九州陶磁をご観頂きたいと思います。



基础物理实验



巴蜀城郭考文集



· 魔界魔子都答人 ·

**《王文忠公作品》** 施高雅茶碗 路 瑞忠 三島齊津耳付木箱 田代昇有形文化財  
染付蓮花文輪花瓶、北村景宣重文茶托、染付山水文水指、色絵扇風磨芋草文大皿各1件計 100点

・講演会 11月 20(土)「華やぎの九州陶磁」鈴田由紀夫  
(佐賀県立九州陶磁文化館館長)

11月16日(土)「九州の茶陶」降矢哲男(茶道資料館学芸員)  
会場 裏千家センター1階講堂 いずれも午後1時30分～3時  
電話番号先着10名まで 開場料金 入館料のみ 1,000円(税込)

・第38回茶道資料館コンサート

日時：10月25日（金）午後6時30分～

卷之三

1647

第六章

随急大官职→四集堪用上等-12系统  
1-12归七堪用等 / 内下座, 徒步2分。

東京出町柳駅29201・203系統  
駆け合羽川下車。  
北川連東閣会館へ往来10分。

九

烏丸御門駅下車，西へ徒歩15分。  
東西線二条城前駅跡脇へ入る9-12系統  
黒川寺内下車，徒歩2分。



【展示案内】表千家主山会館 「少壯四百年景 千家二代 少唐のかわの茶道具展」 一利休の跡承とその時代ー

会場：平成25年10月19日（土）～12月15日（日）午後9時30分～午後10時30分 人物料：830円 会場：吉之家老山会館 京都府相楽郡精華町精華616番地0774-724-8000 駐車料：会場一昼夜1,000円